

三鷹市駐輪場整備運営基本方針

平成 30 年(2018 年)3月

三 鷹 市

<目次>

1 駐輪場整備運営基本方針策定の目的	1
2 これまでの駐輪場整備・運営に関する取組	1
3 背景	2
4 課題	4
5 課題に対する駐輪場整備・運営の考え方	5
6 課題に対する施策	6
7 駐輪場整備・運営に関連して取り組む施策	10
巻末資料	11

1 駐輪場整備運営基本方針策定の目的

放置自転車等^{※1}による市民の生活環境の悪化を防止し、歩行者の安全確保や自転車等の適正利用を図り、安全で快適な市民生活を実現することを目的として、平成23年(2011年)7月に「三鷹市駐輪場整備基本方針」を策定した。以後、適正化の視点に沿って駐輪場整備を進めてきたところである。しかし、本方針の策定から6年が経過し、社会状況の変化などから、さらなる駐輪場の適切な利用や、より効率的な運営が求められており、整備と併せて安定的な運営が必要となっている。このため、既存の「駐輪場整備基本方針」を改定し、運営を含めた今後の施策の方向性を定めた「駐輪場整備運営基本方針」を策定する。

2 これまでの駐輪場整備・運営に関する取組

自転車等利用の適正化を図るため、駅前周辺を中心に駐輪場を整備し、当初は、無料駐輪場として運営を開始したが、利用を希望する市民が多いことから、平成2年(1990年)10月から無料駐輪場の一部については、利用者に一定の要件を設け、事前に登録料を負担する方式の「利用登録駐輪場」として運営していた。

平成4年(1992年)には、3階建ての三鷹駅南口東駐輪場(654台)を有料駐輪場として整備した。さらに買物客等の短時間駐輪に配慮して、3時間までの駐輪に限り、無料で利用できる「買物駐輪場」を整備した。平成24年(2012年)からは、平成23年(2011年)7月に策定した駐輪場整備基本方針に基づき、公平で適正な受益者負担の仕組みへの改善等の課題に対して、三鷹駅周辺より順次再整備を行った。また、平成24年(2012年)には、将来にわたる三鷹市の「交通総合計画」と位置付けた「三鷹市交通総合協働計画2022」を策定し、それに基づく取組を実施している(平成28年(2016年)に一次改定)。平成26年(2014年)には、各鉄道駅周辺の駐輪場の再整備及び有料化を概ね完了し、有料駐輪場は、「一時利用」・「定期利用」の2種類の形態で運営している。また、平成28年(2016年)より、事務の効率化や市民サービスの向上を目的として市立有料駐輪場全施設について、指定管理者を一括で指定し管理・運営を行っている。一方、既存駐輪場のより効率的な活用等を図る、サイクルシェアの事業化に向けた取組として、平成27年(2015年)にサイクルシェア事業ミニ実験を実施し、平成28年(2016年)4月からサイクルシェア事業社会実験を開始した。平成29年(2017年)も実験を継続し、本格実施に向けた検討を進めている。

このほかに、「三鷹市民営等自転車等駐車場育成補助金交付要綱」(昭和63年(1988年)2月2日施行)に基づいて補助金を交付することにより、一般の市民が利用できる民設の駐輪場の整備促進を図っている。

※1 自転車等とは、自転車又は原動機付自転車(道路交通法第2条第1項第10条に規定する原動機付自転車をいう。)をいう。

3 背景

(1) 自転車利用者数

国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成 25 年(2013 年)3月)によれば、三鷹市の人口は、平成 37 年(2025 年)に最高値に達し、その後は緩やかに減少を続けると見込まれているが、今後しばらくの間、人口の微増傾向が続くと予想される。

一方、公益財団法人東京市町村自治調査会の「自転車とまちづくりに関する調査研究報告書(平成 27 年(2015 年)3月)」によれば、多摩・島しょ地域では、若年層だけでなく高齢者層においても、日常的に自転車を利用していることがわかる。また、自転車の利用目的は、年齢層が高いほど、買い物の割合が高くなる傾向がある。

従って、しばらくの間、市内自転車の利用者数全体に微増傾向が予想されるとともに、少子長寿化の進行に伴い、買い物目的の自転車利用者数の増加が見込まれる。

(2) 市立駐輪場運営形態の概要

現在、三鷹市内における駐輪場の運営形態は、表1のように分類できる。

6か所ある無料駐輪場のうち、4か所の駐輪場は、サイクルアンドバスライド(バス乗換え駐輪場)^{※2}として運営している。

有料駐輪場は、一時利用、定期利用に加えて、現在有料駐輪場の一面を実験区画として、サイクルシェア^{※3}事業の社会実験を行っている。

表 1 三鷹市内の駐輪場運営形態の分類 (台数は自転車)

駐輪場 10,453 台	市立 9,659 台	無料 1,082 台	無料 830 台
			サイクルアンドバスライド 252 台
		有料 8,577 台	一時利用 2,017 台
			定期利用 6,440 台
			(サイクルシェア) 120 台
	民間 794 台	(三鷹市民営等自転車等駐車場等育成補助金交付実績があるもの)	

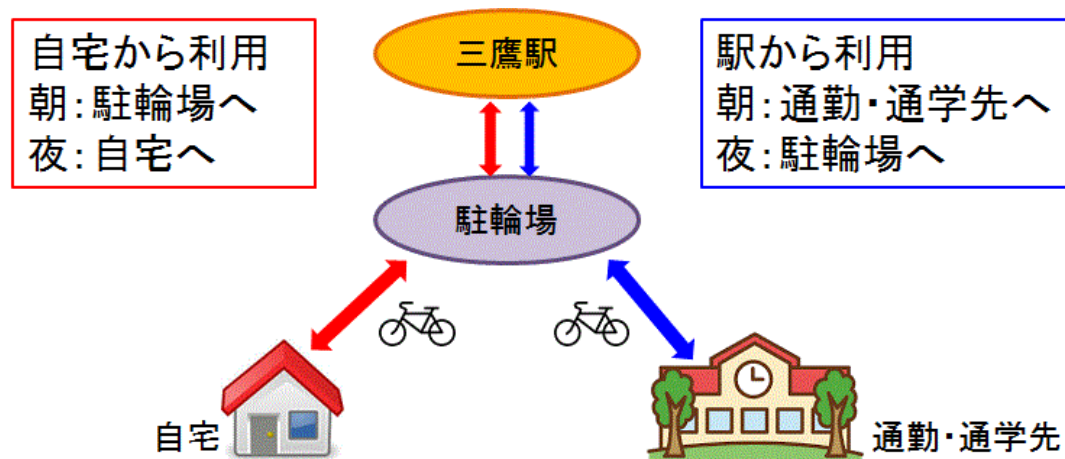
※2 サイクルアンドバスライド(バス乗換え駐輪場)

各鉄道駅周辺への自転車の流入を抑制することを目指し、自転車からバスへの乗換えを促進するために、バス停近くに整備した駐輪場

※3 サイクルシェア

自転車と駐輪場所の利用時間が異なる利用者が、自転車と駐輪場所をシェアして利用することにより、自転車と駐輪場所の効率的な利用を図る運営形態(図1参照)

図1 サイクルシェアのイメージ



(3) 各駐輪場の利用状況(平成 29 年(2017 年)10 月時点)

各鉄道駅周辺の駐輪場の利用状況は、下記のとおりとなっている。

ア 三鷹駅周辺

平成 28 年度(2016 年度)の時点で、一時利用駐輪場の利用率は 100%を超えているところが多く、定期利用駐輪場の契約率も平均して 90%以上となっており、ともに非常に高い値となっていた。平成 29 年度(2017 年度)はその傾向がさらに強まり、10 月時点では、ほとんどの駐輪場で満車状態となっている。また、駐輪場を利用しなかった自転車の中には、道路上等に置かれ、通行の妨げになっているものもある。

イ 井の頭公園駅周辺

井の頭第1駐輪場(一時利用)の利用率、井の頭第2駐輪場(定期利用)の契約率は、それぞれ4割程度、6割程度となっている。

ウ 三鷹台駅周辺

三鷹台第1駐輪場(定期利用)の契約率が、平成 26 年(2014 年)6 月の運用開始から減少傾向にあり、現在は3割程度となっているほか、その他の駐輪場の契約率も、平成 28 年度(2016 年度)から軒並み低下している。

エ つつじヶ丘駅周辺

つつじヶ丘駐輪場の一時利用の利用率、定期利用の契約率は、それぞれ4割程度、7割程度となっている。

(4) 収支状況

駐輪場利用料金(指定管理者利用料金超過分納入金等収入)をはじめとした歳入に対して、駐輪場用地に賃借地が多いことによる駐輪場の賃借料や、駐輪場の整理・設備保守等の歳出が上回っている。

4 課題

これまで既存の駐輪場整備基本方針に基づき、駐輪場整備を実施してきたところであるが、策定から6年が経過した現在、主に以下のような課題がある。

- (1) 賃借地が多く、土地所有者の事情により土地を返還しなければならない場合があるなど、安定した駐輪場の運営が難しい面がある。
- (2) 再開発事業の展開により、駐輪場の数が変動する。
- (3) 竣工から 20 年以上経つ施設があるなど、市所有の既存駐輪施設が老朽化している。
- (4) 三鷹台駅・井の頭公園駅周辺駐輪場の利用者が減少傾向であり、利用率が低調である。
- (5) 土地等の賃借料等も含め、駐輪場整備や放置自転車等対策の歳出が歳入を上回っている。
- (6) 一時利用駐輪場に通勤・通学者が長時間駐輪する等、利用目的と利用形態が合わない状況がある。
- (7) 買い物客等の自転車等について、適切に一時利用駐輪場を利用されておらず、路上での違法駐輪となっている状況がある。
- (8) 三鷹駅南口周辺駐輪場は、時間帯等によって利用が集中し、利用しにくい場合がある。
- (9) 三鷹駅周辺で新規に駐輪場用地を取得することが、物理的・財政的に難しい。

5 課題に対する駐輪場整備・運営の考え方

先に挙げた課題を解決するため、既存駐輪場の運営をより効率的にすることを目指す。特に「整備」・「運営」・「システム」の3点を方向性として定め、これに基づいて各施策の検討を行う。また、サイクルシェアの取組みの位置づけや、今後の「整備」・「運営」・「システム」の展開を踏まえ、既存の条例である「三鷹市自転車等の放置防止に関する条例」の見直しなども検討する。

(1) 駐輪場の整備(整備)

→課題(1)・(2)・(3)・(4)解決への考え方

平成23年度(2011年度)に設定した駐輪場整備目標を見直すとともに、再開発事業への対応等として、代替駐輪場の確保を含めた整備について検討する。

利用者の利便性や利用動向、環境への影響等を考慮しながら、駐輪場の統合・閉鎖を含む再整備や借地駐輪場のあり方、存続の可否などを検討するとともに、既存駐輪場の有効かつ効率的な利用や施設の長寿命化を検討する。また、鉄道事業者には駅周辺などについて、継続的に駐輪場の整備協力を求めていく。併せて、バス事業者等にも協力を依頼するなど、各事業者と連携を図っていく。

(2) 利用者の利用形態に合わせた誘導(運営)

→課題(5)・(6)・(7)・(8)解決への考え方

駐輪場利用については、道路上等に自転車等を駐輪しないよう、一時利用・定期利用それぞれの利用形態にあった駐輪場へ利用者を誘導し、公共交通利用とのバランスを考慮しながら、効率化を図っていく。また、買い物客等のための駐輪場は、店舗事業者で整備することが原則であるが、商業環境に合わせた駐輪場の運営方法などについても検討する。

併せて、駐輪場の再配置(配置状況の見直し)や、維持管理費など駐輪場の整備にかかる経費を考慮した利用料金の適正化を検討する。

(3) 新しい駐輪システムの活用(システム)

→課題(8)・(9)解決への考え方

サイクルシェアやサイクルアンドバスライド等の新しい駐輪システムを活用することで、従来の定期利用駐輪場よりも効率的に駐輪場所・自転車等を利用したり、鉄道駅への自転車等の乗り入れを抑制したりすることができる。そのため、三鷹駅南口周辺駐輪場の混雑状況を踏まえ、拡充の検討を行う。

6 課題に対する施策

(1) 駐輪場の整備(整備)→課題(1)・(2)・(3)・(4)解決への施策

ア 駐輪場整備目標の設定

10年後までの各鉄道駅周辺の駐輪場整備目標台数については、現在の各駐輪場の自転車収容台数、各駐輪場の利用状況、将来人口の推移から推計する予想自転車利用者数や放置自転車数から、各鉄道駅周辺それぞれに必要な収容台数を確保することを基本とし、表2のとおり定める。

表2 各鉄道駅周辺における駐輪場の自転車整備目標台数

	現状		整備目標台数
	か所	台数	
三鷹駅周辺	16	7,166	7,300
井の頭公園駅周辺	2	420	200
三鷹台駅周辺	5	1,351	1,100
つつじヶ丘駅周辺	1	470	500
合計	24	9,407	9,100

三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業に伴い、自転車収容台数の減少が見込まれている。三鷹駅周辺の整備目標台数を達成するため、三鷹駅南口西側中央地区再開発事業(約500台)及び三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業(約1,000台)の中で、必要な自転車収容台数を確保する。

今後、整備目標台数の達成に努める一方で、サイクルシェア等を活用し、既存の駐輪場で利用できる人数を増やすなど、駐輪場運営の効率化を図る。

イ 長期的な駐輪場の確保

駐輪場を長期的にわたり安定的に運営するために、駐輪場用地の安定的な確保が必要である。現在、市立駐輪場28か所のうち、17か所が民間等からの借地である。これらの借地のうち9か所は1年ごとの契約更新を行っている。

引続き、所有者の理解を得ながら、長期的な土地の借用をするなど、安定的な運営に努める。

ウ 再開発事業等への対応

再開発事業等による自転車収容台数の大幅な変動に対しては、必要台数に過不足が発生するかどうかについて確認し、整備目標台数の変更、駐輪場所の確保等について検討する。三鷹駅前地区再開発基本計画2022や、今後策定が予定されている三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針などとの整合を図りながら、対応を行う。

三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業に伴い、その用地に含まれる駐輪場の自転車収容台数の減少が表3のとおり見込まれる。工事期間中には、三鷹駅周辺の自転車収容台数が整備目標台数を大きく下回ることになるため、代替駐輪場所が必要となる。今後、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の進捗状況を注視し、代替駐輪場所の選定、準備の時期等の検討を進める必要がある。

表3 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業用地に含まれる自転車駐輪場

さくら通り第1駐輪場	一時利用	270 台
さくら通り第2駐輪場	定期利用	832 台
	一時利用	72 台
	サイクルシェア	120 台
しろがね通り第2駐輪場	一時利用	347 台
合計		1,641 台

エ 市所有の駐輪施設の老朽化対策

これまで整備し、使用してきた駐輪施設を、適切に維持管理し、快適に利用できる状態が続くよう、長寿命化を図っていく。さらに、幼児二人同乗用やスポーツタイプ等といった、これまで想定していなかった形状の自転車に対応できる駐輪機器の導入も検討し、さらなるサービスの向上を図る。

市立駐輪場で使用している駐輪機器等は、市が所有しているものと指定管理者が所有しているものが混在している。特に、市が所有している駐輪機器等(表4参照)については、それぞれの駐輪場で中・長期にわたる長期修繕計画を作成し、計画的に修繕等を実施する。

また、精算機や更新機については、非接触型のカードでの支払い等、新たな技術の普及が急速に進んでいるため、適切な時期に駐輪機器の更新等を行い、利便性の向上に努める。

表4 市が所有している駐輪機器がある駐輪場

駐輪場名称	設置年月日	長期修繕計画の対象
三鷹駅南口東駐輪場	平成 4 年 (1992 年) 4 月 15 日	駐輪場全体
すずかけ駐輪場	平成 18 年 (2006 年) 7 月 1 日	駐輪場全体
三鷹駅南口西駐輪場	平成 19 年 (2007 年) 12 月 1 日	駐輪機器、更新機
三鷹駅南口中央駐輪場	平成 23 年 (2011 年) 4 月 1 日	駐輪機器、精算機

(2) 利用者の利用形態に合わせた誘導(運営)→課題(5)・(6)・(7)・(8)解決への施策

ア 駐輪場の再配置

駐輪場利用者を、それぞれの利用形態に合わせた各駐輪場へ誘導するため、利用者のニーズに合うよう、駐輪場の再配置を検討する。また、分かり易く利用しやすい駐輪場とするため、統一的な案内標識を設置するとともに、駐輪場の空き情報を案内するシステムの導入等、利用者サービスの向上について検討する。

具体的には、買い物客等について、一時利用駐輪場の利便性を高めることで、目的に合った駐輪場の利用を促す。また、通勤・通学者等の利用する定期利用駐輪場や民間事業者の運営する駐輪場の収容台数・運営形態等も考慮したうえで、再配置は次の考え方を基本とする。

〈一時利用駐輪場〉

(ア) 商店街付近の駐輪場

(イ) 再開発用地

〈定期利用駐輪場〉

(ア) 駅付近(駅から概ね 300m以内)を含む駐輪場

イ 利用料金の体系化

二段式ラックが普及してきたことなど、駐輪場の立地だけでなく、使いやすさなどに応じて、利用料金体系をより詳細に検討する必要性が生じている。主に以下のような観点から、検討を行う。

(ア) 目的地からの距離

鉄道駅などの駐輪場利用者が利用することが想定される目的地からの距離に応じて利用料金を設定する。

(イ) 利便性

屋根の有無、階層の差、ラックの上段・下段の差及び有人管理であるか否かに応じて利用料金に差を設ける。

(ウ) 買い物客等の一時利用駐輪場への誘導

一時利用駐輪場の課金する単位時間を短く設定し、一定の無料時間を設ける。また、商店会等と協力した無料サービス制度等の導入について検討する。

(エ) 利用料金の減免等

定期利用駐輪場については、障がいのあるかたや学生のかたを対象に、利用料金の減免を行う。また、一時利用駐輪場についても、バリアフリー対応の拡充を検討する。

(オ) 無料駐輪場のあり方

無料駐輪場について、今後再開発事業等や、有料駐輪場の利用状況を検証しながら、運営方法等の検討を行う。

ウ 利用料金の適正化

駐輪場運営及び放置自転車等対策に係る経常経費は、表5のとおりとなっている。歳入と歳出のバランスや他の公共交通手段等の利用料金等も考慮したうえで、駐輪場の利用料金について検討し、条例の改正を行うなどして、適切な駐輪場の運営を実施していく必要がある。

表5 駐輪場運営及び放置自転車対策に係る収支状況
(平成28年度(2017年度)決算額)

歳入		歳出	
放置自転車等撤去料収入	2,559,000 円	放置自転車保管・返還等業務委託料	62,713,543 円
放置自転車売却収入	1,996,715 円	整理等業務委託料	2,307,975 円
駐輪場指定管理者からの納入金	20,053,695 円	設備保守委託料	6,364,814 円
		賃借料等	122,294,172 円
合計	24,609,410 円	合計	193,680,504 円

エ 民間活力を活用した駐輪場管理・運営手法の導入

現在、三鷹市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、市立有料駐輪場は、指定管理者制度を導入している。今後も、民間事業者の有する能力、経験及び知識等を活用することにより、効率的な駐輪場の管理・運営に取り組む。

また、三鷹市民営等自転車等駐車場育成補助金交付要綱に基づき、民間事業者による駐輪場の新設、運営等の適切な補助を行うことで、民間駐輪場の整備を促進する。なお、より効率的な整備・運営を導くため、要綱の見直しについても検討する。

(3) 新しい駐輪システムの活用(システム)→課題(8)・(9)解決への施策

ア サイクルシェア

平成 28 年(2016 年)4月から実施しているサイクルシェアの社会実験では実験参加者に対し、用意した自転車、駐輪場所の数でシェアが成り立つことが確認できている。平成 29 年度(2017 年度)以降も引続き、本格実施に向けた詳細な検証を行う。

サイクルシェアは、自転車や駐輪場所の利用時間帯が定形的な通勤・通学者を対象としている。そのため、定期利用駐輪場の効率的な運営方法としても、有効性があると期待できる。今後、定期利用駐輪場利用者の利用目的等を調査し、サイクルシェアに移行を図るなどの拡充を踏まえた検討を行う。

また、サイクルシェアの特性上、土曜日、日曜日及び祝日、並びに学校等の長期休暇期間において、利用者数が減っている。自転車の一時利用貸出(レンタサイクル)によって補完する等、より効率的な自転車、駐輪場所の利用方法を検討する。

イ サイクルアンドバスライド

現在、市内に4か所のサイクルアンドバスライドを整備している。いずれの駐輪場も表6のように高い利用率となっており、鉄道駅に集中する駐輪場需要の抑制に一定の効果を上げている。今後、自転車利用者の需要等に応じて、整備の検討を行う。

表6 サイクルアンドバスライドの利用状況

駐輪場	収容台数	利用台数	利用台数
		(平成 29 年(2017 年) 5月 10 日)	(平成 29 年(2017 年) 10月 11 日)
新川天神社前	50	49	59
天文台下	52	35	59
牟礼駐在所前	50	67	66
中原高架下	100	82	93

ウ レンタサイクル

現在、すずかけ駐輪場において、指定管理者が、自主事業としてレンタサイクル事業を実施している。今後は、サイクルシェアとそれぞれの特徴を活かした相互補完ができるよう、検討を行う。

7 駐輪場の整備運営に関連して取り組む施策

(1) 自転車利用者のマナー向上

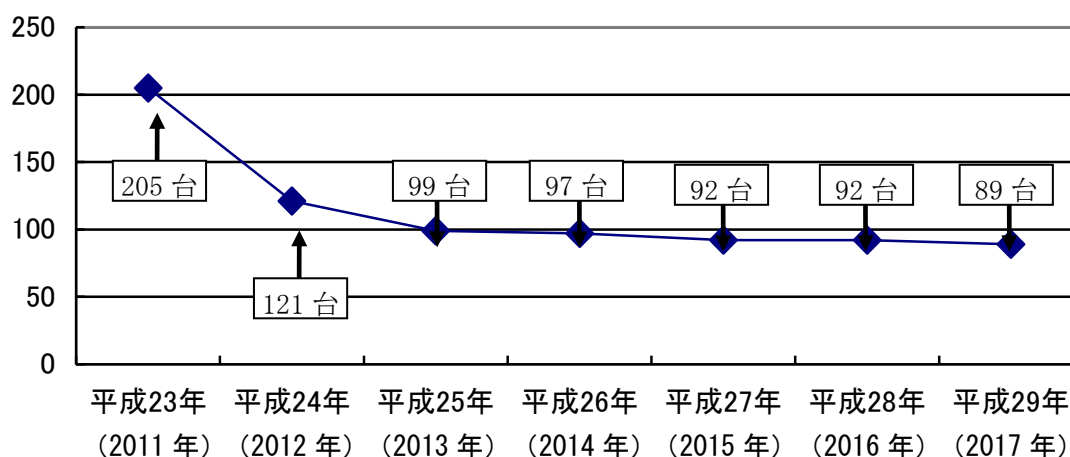
平成 28 年(2016 年)中の三鷹市内における交通事故のうち、自転車に関与する交通事故発生件数は、221 件で、交通事故全体の 45.8% (平成 27 年(2015 年)は 41.8%)を占めている。交通ルールの順守と安全運転のマナー向上を図るため、三鷹警察署、三鷹交通安全協会、三鷹市交通安全対策地区委員会及び商店会等との連携を強化する。また、駐輪場における新しい啓発の方法について、駐輪場の指定管理者や駐輪機器メーカー等とも検討を行う。自転車ナビマークや交通安全啓発看板等についても、必要に応じて対応に努める。

自転車安全講習会については、受講者が増えるよう、市民への効果的な周知方法や、駐輪場利用者への受講義務化等について検討する。定期的な講習会だけでなく、大学、事業者や体育館などで活動している団体など、特定の自転車利用者を対象とする自転車安全講習会を実施する。

(2) 放置自転車等対策の推進

駅前の放置自転車については、これまで行ってきた対策の効果が顕れ、表7のとおり年々減少傾向にあり、

表 7 三鷹駅前地域の放置自転車の台数 (1 日当たり)



現在は買い物等を目的とした短時間駐輪対策が課題となっているため、引き続き関係機関と連携し、自転車等の放置を抑制し、駐輪場利用に誘導することで、安全安心な歩行空間の確保を図る。

また、歩道状空地への放置自転車対策については、引続き当該地所有者等と連携して課題解決方法を検討する。

なお、三鷹駅南口を中心として放置自転車等への指導、警告、撤去等を実施している放置自転車等対策関係業務については、より納得性、実効性のあるものとなるよう、従事者の質の向上も含めた見直しを行う。

(3) 他自治体との連携

市域外に最寄りの鉄道駅が立地し、他自治体が設置した駐輪場を本市の市民が多く利用しているなどの場合、広域行政等の観点から、他自治体と連携し、駐輪対策等の取り組みを進める。

巻末資料

資料-1 各鉄道駅周辺における駐輪場のこれまでの取組み・背景

(1) 三鷹駅

駐輪場整備基本方針(平成23年(2011年)7月策定)に基づき、平成24年(2012年)4月1日に新たな機械式有料駐輪場として、定期利用駐輪場及び一時利用駐輪場を再整備している。現在、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業地内に約1,600台分の駐輪場があるが、三鷹駅前地区再開発基本計画2022において、三鷹駅南口西側地区再開発事業(約500台)、三鷹駅南口中央通東地区再開発事業(約1,000台)の整備を計画している。

一方でより効率的な駐輪場運営について検討を進めるため、平成28年(2016年)4月よりサイクルシェア事業社会実験を開始している。



サイクルシェア事業社会実験の様子。写真は、開始日のものなので自転車が全台数(120台)揃っている。

三鷹駅周辺 駐輪場の現況



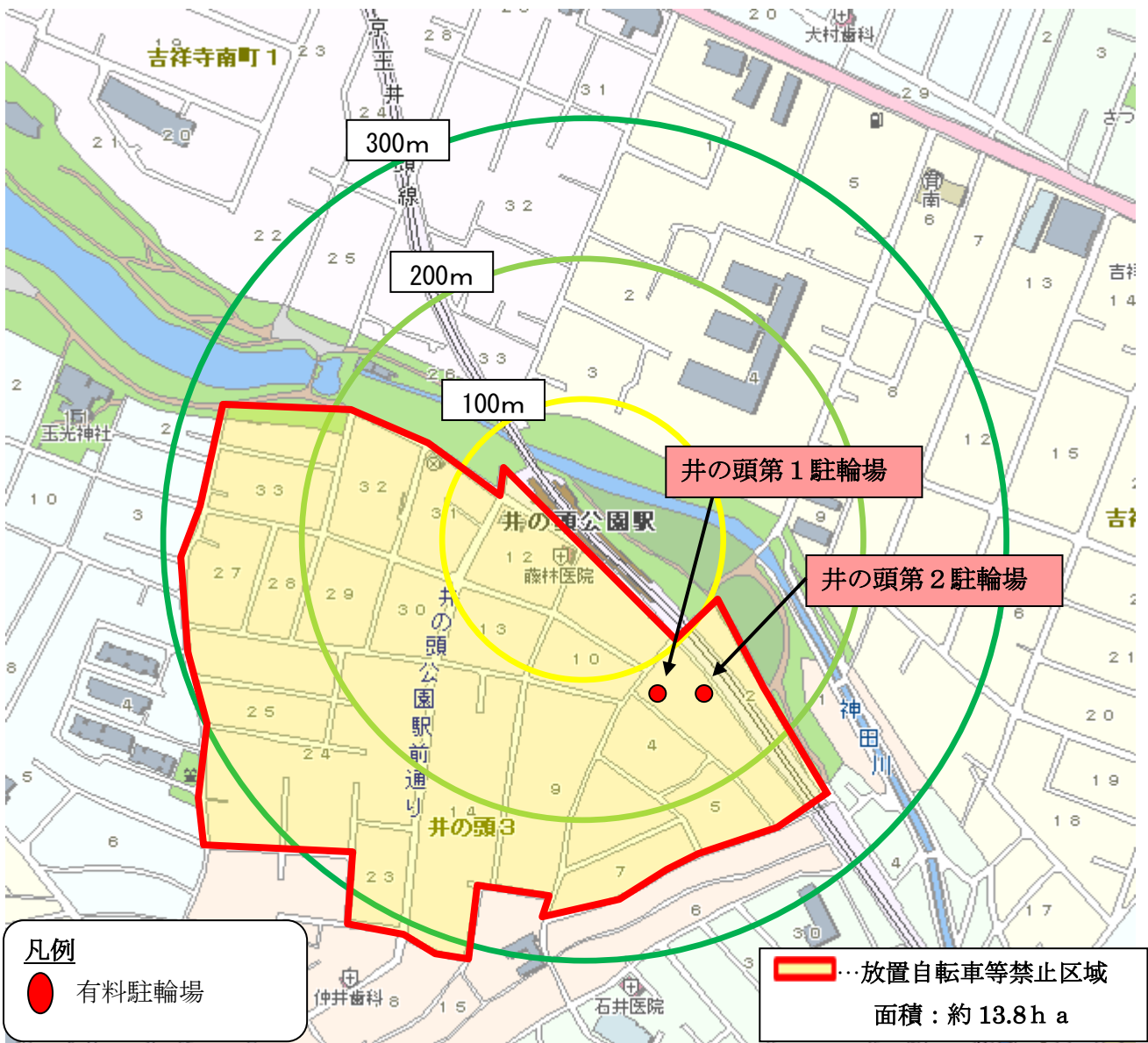
(2) 井の頭公園駅

2か所の駐輪場を平成25年(2013年)4月から有料化して運営しており、収容台数は420台となっている。



井の頭第1駐輪場(左)、井の頭第2駐輪場(右)の様子。平成25年(2014年)の有料化に合わせて舗装等の整備を行っている。

井の頭公園駅周辺 駐輪場の現況

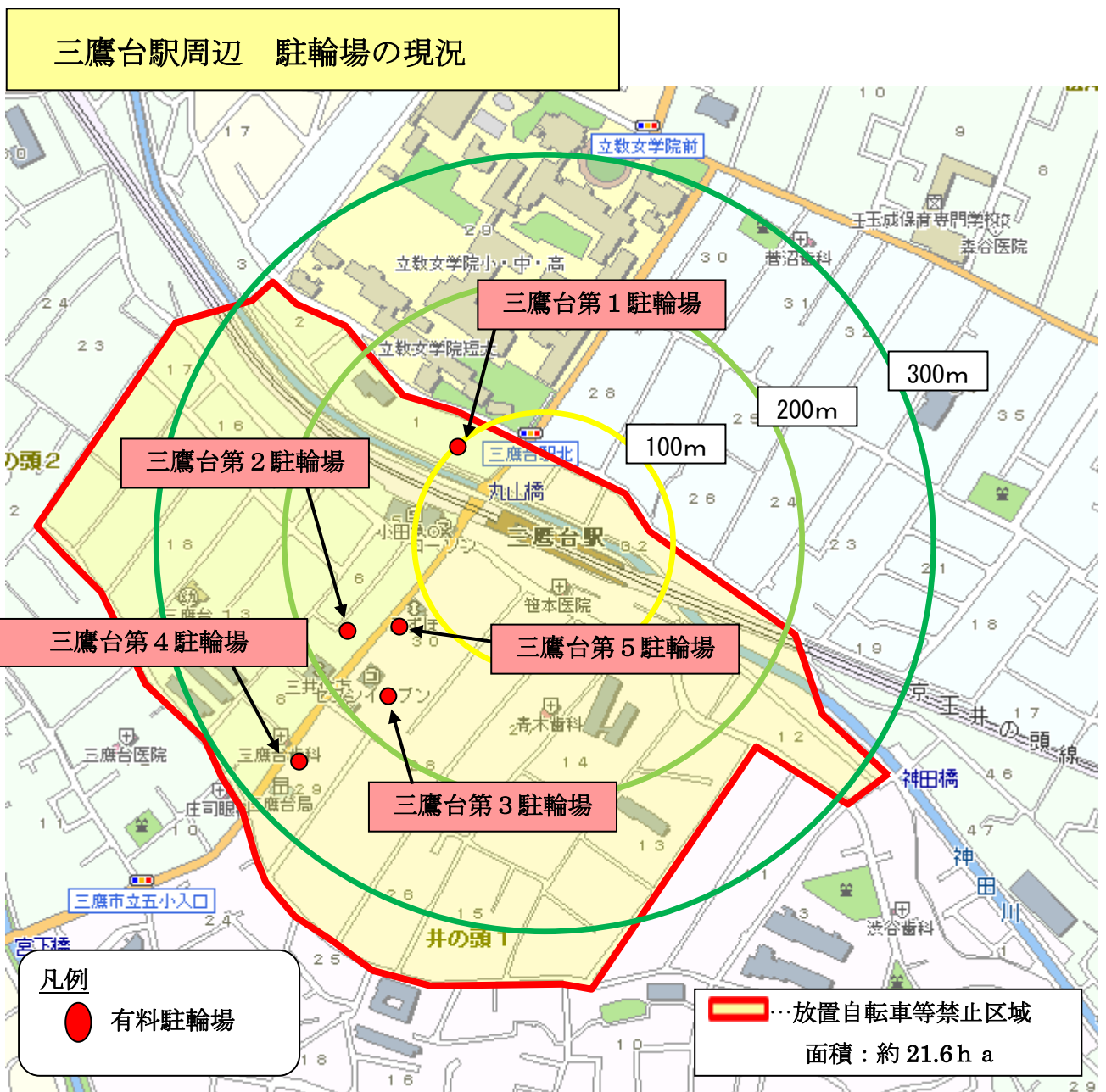


(3) 三鷹台駅

5か所の駐輪場を平成26年(2014年)6月から有料化して運営している。2か所の民営駐輪場を含めて合計で1,464台の利用が可能であり、通勤・通学者の利用が一定数あるが、利用率が低調な駐輪場もある。



三鷹台第1駐輪場(左)、三鷹台第4駐輪場(右)の様子。平成26年(2014年)の有料化に合わせて舗装等の整備を行っている。



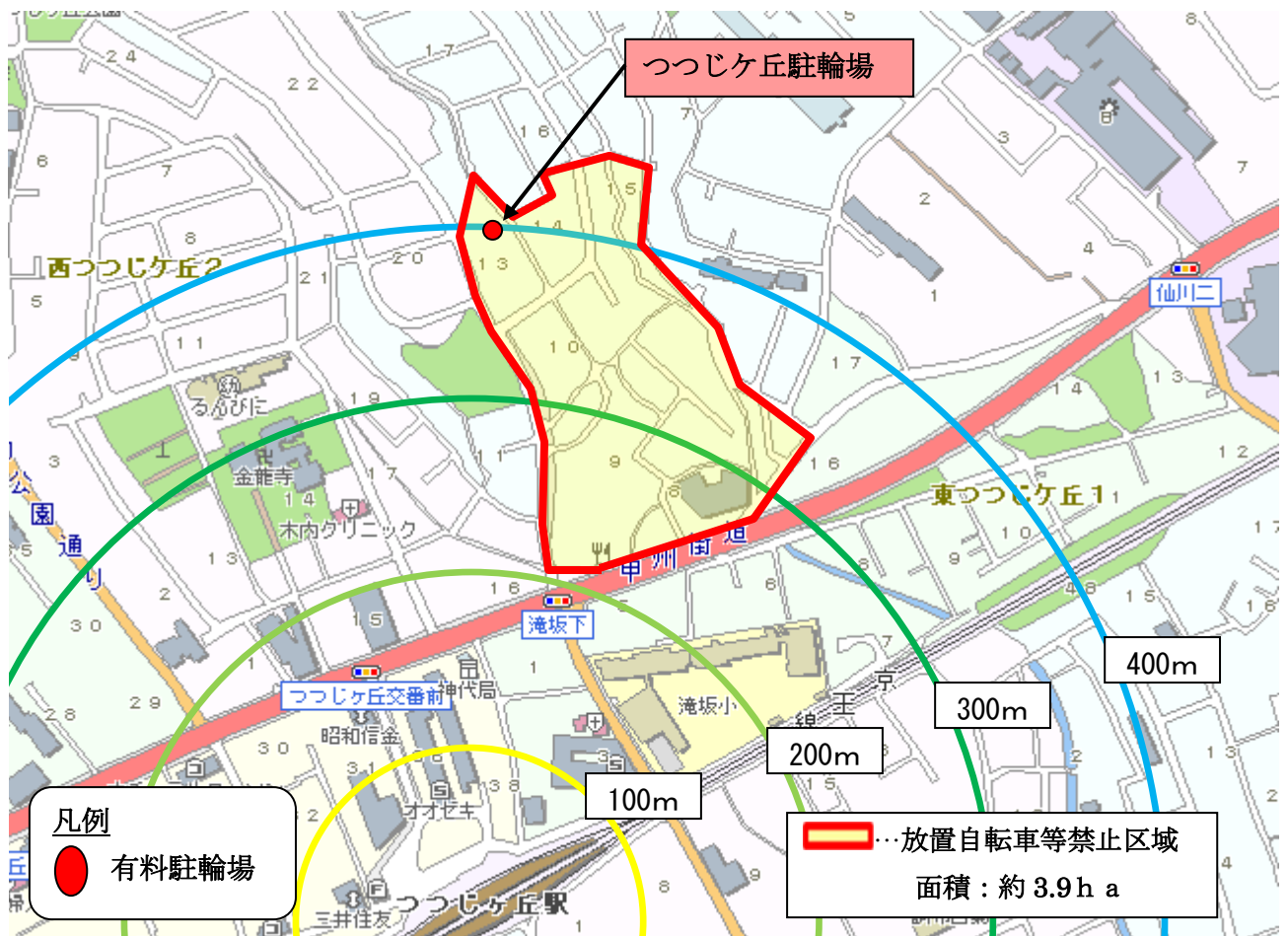
(4) つつじヶ丘駅

つつじヶ丘駅までは甲州街道を横断して約 500mの距離がある。通勤・通学者の利用が主であり、収容台数は 470 台となっている。



つつじヶ丘駐輪場の様子。平成 25 年（2013 年）の有料化に合わせて舗装等の整備を行っている。

つつじヶ丘駅周辺 駐輪場の現況



資料-2 放置自転車撤去状況

(平成28年(2016年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までの年間集計)

【路上放置】

場所別	三鷹駅周辺		井の頭公園駅周辺		三鷹台駅周辺		つつじヶ丘駅周辺 (三鷹市内)		計	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
計	1,405	9	32	1	83	1	2	0	1,522	11

【駐輪場内】

場所別	有料駐輪場		無料駐輪場		サイクルアンド バスライド		計	
	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付	自転車	原付
計	129	0	61	1	88	0	278	1

資料-3 各駅周辺駐輪場台数 (平成30年(2018年)3月31日現在) ※()内は原動機付自転車

	有料駐輪場		無料駐輪場		民営駐輪場		計	
	か所	台数	か所	台数	か所	台数	か所	台数
三鷹駅周辺	14(2)	6,336(53)	2(1)	830(50)	5(1)	794(7)	21(4)	7,960(110)
井の頭公園駅周辺	2(1)	420(15)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	420(15)
三鷹台駅周辺	5(0)	1,351(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)	1,351(0)
つつじヶ丘駅周辺	1(1)	470(27)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	470(27)
計	22(4)	8,577(95)	2(1)	830(50)	5(1)	794(7)	29(6)	10,201(152)

資料-4 各駅周辺駐輪場利用率 (平成29年(2017年)10月11日実施の実態調査による。)

※()は原動機付自転車

	収容台数	利用台数	放置台数	過不足	利用率
三鷹駅周辺	7,960(110)	5,459(59)	99(1)	2,402(50)	69%(54%)
井の頭公園駅周辺	420(15)	174(2)	23(0)	223(13)	41%(13%)
三鷹台駅周辺	1,351(0)	570(0)	20(1)	761(-1)	42%(0%)
つつじヶ丘駅周辺	470(27)	174(6)	3(0)	293(33)	37%(22%)
計	10,201(152)	6,377(67)	145(2)	3,679(95)	63%(44%)

資料-5 駐輪場一覧表

1 無料駐輪場 (平成30年(2018年)3月31日現在) ※()内は原動機付自転車

No.	名称	住所	面積(m ²)	収容台数(台)	設置年月日	管理	市有地
1	下連雀四丁目	下連雀4-12-37	391.10	無料 530(0)	H1(1989).10.27	三鷹市	
2	電車庫通り	上連雀3-1-6	741.00	無料 300(50)	H1(1989).6.12	〃	○
三鷹駅合計		2か所	1,132.10	無料 830(50)			

2 有料駐輪場

No.	名称	住所	面積 (㎡)	収容台数 (台)	設置年月日	管理	市有地
1	三鷹駅南口東	下連雀3-15-3	624.90	定期 588(0) 一時 66(0)	H 4(1992). 4. 15	(株)まちづくり三鷹	○
2	すずかけ	下連雀3-16-7	664.50	定期 1,440(0) 一時 137(12)	H18(2006). 7. 1	"	○
3	三鷹駅南口西	下連雀3-44-17 エルヴェ三鷹地下1階	756.54	定期 710(0) 一時 106(0)	H19(2007). 12. 1	"	○
4	赤鳥居通り	下連雀3-37-2	約 151	一時 157(0)	H20(2008). 1. 21	"	
5	禅林寺通り第1	下連雀3-43-7	116.10	一時 92(0)	H21(2009). 8. 1	"	
6	三鷹駅南口中央	下連雀3-25-11	180.00	一時 151(0)	H23(2011). 4. 1	"	
7	さくら通り第2	下連雀3-21-30	1,314.18	定期 832(0) 一時 72(0)	H 8(1996). 7. 15	"	
				サイクルシェア 120(0)			
8	しろがね通り第1	下連雀3-30-2	326.15	定期 275(0)	H20(2008). 8. 1	"	
9	しろがね通り第2	下連雀3-28-9	471.68	一時 347(0)	H25(2013). 6. 1	"	○
10	上連雀二丁目	上連雀2-7-25	752.00	定期 390(0)	H16(2004). 4. 1	"	
11	禅林寺通り第2	下連雀3-37-26	458.73	定期 286(0)	H21(2009). 4. 1	"	
12	禅林寺通り第3	下連雀3-41-4	330.57	定期 235(41)	H16(2004). 5. 17	"	
13	さくら通り第1	下連雀3-21-32	325.50	一時 270(0)	H 7(1995). 3. 15	"	
14	三鷹産業プラザ	下連雀3-38-4	250.17	一時 62(0)	H12(2000). 4. 1	"	○
三鷹駅周辺		14か所	6,722.02	定期 4,756(41) 一時 1,460(12) サイクルシェア 120(0)			
15	井の頭第1	井の頭3-3-12	364.36	一時 200(15)	H 1(1989). 5. 1	(株)まちづくり三鷹	○
16	井の頭第2	井の頭3-3-17	277.60	定期 220(0)	H 5(1993). 3. 1	"	○
井の頭公園駅周辺		2か所	641.96	定期 220(0) 一時 200(15)			
17	三鷹台第1	井の頭2-1-19	1,014.33	定期 728(0)	H26(2014). 6. 1	(株)まちづくり三鷹	
18	三鷹台第2	井の頭2-7-18	178.94	定期 120(0)	H25(2013). 6. 10	"	
19	三鷹台第3	井の頭1-30-17	240.89	定期 173(0)	H12(2000). 1. 8	"	
20	三鷹台第4	井の頭1-29-15	440.94	一時 257(0)	H19(2007). 10. 1	"	○
21	三鷹台第5	井の頭1-30-19	109.40	定期 73(0)	H25(2013). 2. 27	"	
三鷹台駅周辺		5か所	1,984.50	定期 1,094(0) 一時 257(0)			
22	つつじヶ丘	中原1-13-9	680.03	定期 370(17) 一時 100(10)	S60(1985). 8. 1	(株)まちづくり三鷹	○
つつじヶ丘駅周辺		1か所	680.03	定期 370(17) 一時 100(10)			
合計		22か所	10,0028.51	定期 6,440(58) 一時 2,017(37) サイクルシェア 120(0)			

3 民営駐輪場（三鷹市民営等自転車等駐車場等育成補助金を交付した実績のあるもの）

No.	名 称	住 所	面積 (㎡)	収容台数 (台)	設置年月日	管 理
1	星有料	下連雀3-23-15	499.38	有料 333(0)	H9(1997).4.1	株星コーポレーション
2	星第2有料	下連雀3-27-4	295.75	有料 186(0)	H10(1998).12.10	〃
3	スマートパーク 三鷹	下連雀3-38-16	326.00	有料 124(7)	H22(2010).9.1	株まちづくり三鷹
4	けやき橋北口	上連雀1-3-1	80.00	有料 40(0)	H28(2016).3.1	土地所有者
5	チャリパ三鷹 駅南口	下連雀3-23-3	132.00	有料 111(0)	H29(2017).9.11	株三井不動産リアルティ
合計		5か所	1,333.13	有料 794(7)		

4 サイクルアンドバスライド（バス乗り換え駐輪場）

No.	名 称	住 所	面積 (㎡)	収容台数 (台)	設置年月日	管 理	市有地
1	新川天神社前	新川 2-1 先	99.99	無料 50(0)	H11(1999).12.1	三鷹市	
2	天文台下	大沢 2-21-3	150.81	無料 52(0)	H19(2007).12.1	〃	○
3	牟礼駐在所前	牟礼 2-14 先	134.70	無料 50(0)	H21(2009).4.1	〃	
4	中原高架下	中原 2-12 先	186.56	無料 100(0)	H24(2012).5.22	〃	
合計		4か所	572.06	無料 252(0)			